

第5回 七尾市総合計画審議会 議事録

日時 平成30年10月19日（金）
10時30分～11時25分
場所 七尾市役所2階 201会議室

【出席者】

会 長：南 朋之

副会長：佐藤 一郎

委 員：大橋 松蔵、木谷 沙耶香、国分 秀二、坂井 善久、千場 恵美子、橋元 道彦、
廣瀬 絵美、福嶋 葉子、前山 英規、南 紀一、都 由紀彦、宮西 直樹、村田 正明、
守 世志子、伊藤 隆行（欠席：川端 海富理、坂本 一之、柴垣 康宏）

（五十音順、敬称略）

【質疑・意見交換】

事務局	ただいまから、第5回七尾市総合計画審議会を開催する。まず、開催にあたり南会長からご挨拶をいただきたい。
南(朋)会長	昨年7月の総合計画審議会の発足から1年3ヶ月、長いようで短かったような気がする。回数的にはもう少し審議会があっても良かったかと思うが、1年3ヶ月が経過した。この間、審議会の皆さんには、部会にも意見交換会にも出てきていただき、色々なご意見をいただいた。大変貴重なご意見があったことが、総合計画案に反映されているかと思う。今日は、この総合計画案に沿って、事務局の説明を受けながら、最終確認の場とさせていただきたいと思う。今日で審議会の会議としては最後となるため、忌憚のないご意見をお願いしたい。
事務局	それではこれから議事に入りたいと思う。 これ以降の進行は、南会長にお願いする。
南(朋)会長	議事の第1、七尾市総合計画案について、事務局からの説明をお願いする。
事務局	(第二次七尾市総合計画について説明)
南(朋)会長	事務局から、計画案の修正箇所、それから基準値の変更について詳しく説明があったが、ここに関して質疑があったら、お願いしたい。

国分委員	もう少し早く気がつけばよかったが、「3-3 子供の教育の充実」の中の「学校教育の体制の強化」。他の所を見ていると「強化」という言葉は使っていないように思う。1 箇所だけ「充実強化」という表現があるが、「体制の強化」と言われると締め付けられているようなイメージがある。自分自身が学校にいた関係もあるからかも知れないが、何故ここだけ「強化」にしたのか、体制だから「強化」にしたのかなと思う。「充実」に修正すべきではないか。
南(朋)会長	今の質問に対して、事務局から説明していただきたい。
事務局	先ほど、ご指摘を受けた学校教育体制で「強化」という言葉を使ったことについて、特に他意はない。もし、表現が強すぎるということで、強権的なイメージがあるということであれば、例えば他と同じように「充実」という表現で置き換えるということは事務局としては、対応可能である。
南(朋)会長	今、色々やりとりがあった学校教育体制に「強化」という所であるが表現としては少し強いのではないかという話。事務局では特段意思があって出したものではないということ。私は「強化」というと、いろんな意味でやはり締め付けのような感覚を若干受ける。
南(紀)委員	私も国分委員さんと同意見で、「強化」というと少し違和感がある。変かも知れないが、洗脳などのイメージを感じるので、「充実」が良いのではないかと思う。
南(朋)会長	ここの修正は今からでは厳しいのか。
事務局	このような字句の訂正は、皆さんの総意で「充実」にしようということであれば、先ほど事務局から説明があった写真関係やレイアウトの変更を行っている最中のため、それと合わせて訂正可能だと思っている。この場で「ここをこのような形で修正してほしい」ということで了承いただければ、修正をしていきたいと思う。
南(朋)会長	坂井委員から何かご意見をいただけないか。
坂井委員	問題はないと思うが、「強化」が強いイメージを持たれるということであれば、やはり「充実」ということで同じレベルアップを狙うということが良いのではないか。

南(朋)会長	皆さん、他に意見はないか。
守委員	P.44 の 3 の②について。「グローバル化対応した英語教育を強化する」という所で「強化」と出ているが、この語句については何か意図があるのか。
事務局	こちらについても「充実」というように言い換えて意味は通じるとは思うため、「強化」という言葉について強いということであれば、また事務局で話して他に同様な言葉が使われていないか確認したうえで、「充実」等に置き換えて差し支えがないものであれば「充実」という形で置き換えたいと思う。
南(朋)会長	今のやりとりの中で意見として「強化」よりも「充実」の方が良いのではないかという意見が出た。皆さんのお話を聞いた訳だが、他の委員の方で意見はないか。
村田委員	P.39 の話で「教育環境の充実」とあり、学校だけ「学校教育の体制」になっているが、行政側に重い宿題を課せるという意味では「強化」の方が良いと思う。(2)が無ければ「学校教育環境の充実」でも良いが、教育は社会教育も全部含めた形で勘案して「充実」になっているので、下の方は特に学校はということで、子供は大事だという意味で「体制強化」で良いのではないかと思う。
南(朋)会長	P.39 のところに「教育環境の充実」と書いてあるが、村田委員からはもう出ているのだからこのままで良いのではないかという意見もある。もう 1 つはせっかく「充実」ということが書いてあるのでれば、同じように「充実」という言葉で統一した方が良のではないかということもある。一般に読まれる方にとってそれの方が良いイメージを与えるのであれば、特に他に意見が無ければ、「充実」という言葉で合わせた方が良いのではないか。
佐藤副会長	これは受け取り方の話になると思うが、先ほど出ておりました少し強いのではないかと思う人、あるいはそうでないと思われる方もいる訳だが、「強化」が良いのか、「充実」の方が良いのかはさほどは問題無いのではないかと私は思っている。
南(紀)委員	「体制の強化」と書いてあることから、学校の先生や子供にもその体制を縛り付けるという意味で「強化」というのは少しやり過ぎというイメージを持ってしまう。それともう一つ、「英語の強化」も「強化」

南(朋)会長	<p>を「充実」にするとのことだが、「勉強の強化」という意味と「体制の強化」というのでは意味が違ふと思う。私としては体制の「強化」を「充実」に直せば、その「英語教育の強化」というのは、「一生懸命勉強するように」という意味での強化であるから、良いのではないか。</p> <p>やはり統一という話になるが、出来ればここは「体制の充実」というふうにしていただければ、私もそう思うし、先に出ているからというのも分からないではないが、やはり「体制の強化」というのは何だということになると思うので、出来れば「充実」ということでお願い出来ないかなと思う。</p>
事務局	<p>各委員から、いろんな意見をいただきましたが、「強化」として残した場合には様々な捉え方があって、誤解を生む場合や考え方の違いが出てくるので、「充実」ということでどちらも置き換えて、それに対して具体策の違い等が生じることはないが、ここはどちらも「充実」ということで統一させていただきたい。</p>
南(朋)会長	<p>それでは皆さんそれでよろしいか。</p>
坂井委員	<p>p.33の「充実強化」はこのままで良いか。2-2(1)(2)移住・定住促進の所でも、そこだけ「強化」が入ってきている。</p> <p>あと、表記の問題だが、一時期から学校現場で「子供達一人一人の個性を」という使い方の時に「一人ひとり」に変わっている。ここを見ていくと p.16、p.41、p.44 で「一人ひとり」と「一人一人」あるいは「ひとり」という所があるが、これは統一した方が良いと思う。まず、p.16の「目指す将来像」の中段のところ。「大切な七尾を伝えながら、ひとりひとりが夢や希望、目標をもって」が「ひとりひとり」。下から3行目は「一人ひとり」に変わっている。同じ表記の場合、一緒に揃えた方が良いのではないか。あと p.41の「ひとり親家庭等の自立支援」の時は、ひらがなで良いのか。それから p.44にもう1箇所だが、(2)充実環境の充実の③の下から2行目。ここでは「児童生徒一人一人」になっているので細かい話だが、意図を聞かせてほしい。</p>
事務局	<p>今ほど、指摘のあった「一人一人」の件に関しては、事務局のチェック漏れである。ご指摘の通り「一人ひとり」で、統一をさせていただきたい。それから「ひとり親家庭」の「ひとり」だが、通常私達の中ではひらがなで表記させていただいている。</p>

南(朋)会長	<p>それでは「一人一人」の表現については、事務局の方で統一し、修正等の対応をお願いしたい。</p>
千場委員	<p>p.40 の(2)妊娠期から乳幼児までの支援の充実の②ですが、「妊娠婦、乳幼児健康診断、予防摂取の実施など」がある。これは当たり前の事ではないかと思うので、これを更に進めた形の施策というのを記載しないのか。例えば助成など、当たり前のことを表記していると思うが。何故今これを言ったかと言うと、お母さん方のご意見聞いていると、例えば、風疹とかの予防接種の助成金が無いというような具体的な話があり、それを考えると更に一歩進んだ施策が在ると思ひ、意見した。</p>
事務局	<p>今ほどのご指摘だが、今回の七尾市総合計画については、具体的施策や事業に関しては各年度の予算の中で整理することとしている。今の予防接種とか健康診断の助成等についてもまずは施策を行うことが必要だと考えている。よって、総合計画には詳細な施策について記載しないということでご理解いただきたい。</p>
南(朋)会長	<p>ご理解いただけたようなのでそのような形をお願いしたい。</p>
坂井委員	<p>p.37 の定住施策の充実強化の下のこの図。小さくて文字もつぶれているので、もう少し大きく出来ないかというのが一点ある。p.44(2)の教育環境の充実の③の横が微妙に空いている箇所があるが、写真か何か図でも入るのか。</p>
事務局	<p>委員の皆さんに資料を配布した後、広報担当の方から、文字が小さいのではないかと、写真の配置を見直すべきではないかというような意見があった。先ほど、ご説明したとおり、構成等については事務局の方に一任していただきたい。</p>
南(朋)会長	<p>バランスの問題もあるが、そこは事務局にお任せするので、出来ればもっと市民の方が見やすくなるようにお願いしたいと思っている。</p>
大橋委員	<p>第 1 回目の時に「七尾らしさ」について話したいと思う。例えば、「下北半島（青森）で言うのであれば餅」とか。そういうのに置き換えて「七尾らしさ」って言うのを出して欲しいというのを第 1 回目の時に言ったと思う。皆さんそれで納得されたと思うが、七尾の相撲というのは、亡くなった輪島関も含めて、舛田山関、輝関などを輩出していることもあり、基本計画の中で、「相撲」という言葉を入れさせてもらった。基本計画の中にすべて具体的なものは恐らく網羅出来ない</p>

事務局	<p>ということを最初から言われているが、この総合計画に記載されてある七尾らしさを3つほど教えていただきたい。</p> <p>基本構想は、平成18年に策定した「市民のねがい」をベースにしながら組み立てている、「七尾らしい、能登らしい」ことを挙げてほしいということであれば、例えば世界農業遺産「能登の里山里海」や「青柏祭」などの多彩なお祭りなど記載している。</p>
南(朋)会長	<p>事前に資料もお送りしているが、各委員に関連する箇所はチェックされているかと思う。私から1つだけ確認したいが、パブリックコメントは、意見が無かったか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントについては、1件もありませんでした。パブリックコメントの制度が出来て、かなり時間が経ったが、最近では総合計画に限らず、市でパブリックコメントに掛ける案件は、年に1~2件あるが、ほとんど意見が出てこないというのが最近の傾向である。</p>
南(朋)会長	<p>正直申し上げて、私もサンビーム日和ヶ丘に設置してあったパブリックコメントの資料を週2回ほど確認していたが、誰も見ていないように感じとれた。先ほど、意見があったというのは電話での意見があったというような感じか。</p>
事務局	<p>お電話でのお問い合わせや本庁舎へ直接きていただいた方から総合計画についての質問はいただいた。内容については、「何故このような目標設定をしたのか」とかいうようなことでお問い合わせをいただいた。</p>
南(朋)会長	<p>他の意見はあるか。</p>
都委員	<p>p.81の目標値「待機児童数0維持」、基準値も目標値も「維持」ということだが、保育園を運営しているものとして、「待機児童数0維持」に関してお聞きしたいのだが、これはどこでも出来ることだと思う。むしろ園児数が減少していき、逆に定員割れを起こしているような状況はこれからどんどん起きていくのに対して待機児童数0維持しますという目標値は少し私としては違和感がある。ただ、ここで「これを目標値にしてください」という具体例は浮かんでこないが、意見として述べさせていただいた。</p>

事務局	<p>都委員のご指摘とおり、子供が減少していく中で、市としては公立保育園を民営化するなど、子供の数を見ながら、保育園の数を減らしていくという状況の中で、将来的にも維持できて当たり前というようなご指摘かと思う。ただ、この「待機児童0維持」ということについては、全国的な状況を見ると、待機児童がいる自治体もある。市としては、七尾の子供達全てが保育園に入れる体制だけは整えていかなければならないという意味で「待機児童0維持」を目標に掲げた。これについては、平成27年度策定いたしました七尾版総合戦略の中でも同じように子育ての事項での目標値として、「待機児童0」というのを掲げさせていただいているが、今回それに合わせていただいたということで、ご了解をいただきたい。</p>
南(朋)会長	<p>目標値としてはなかなか掲げることが難しい箇所もあると思う。ただ、出来れば0を維持していきたいという思いで表現も「維持」という形になっているのではないかと思う。市などの努力を鑑みて、特に問題無ければこれで良いのではないかと思う。</p>
都委員	<p>中島、能登島などの地域でも保育園が維持出来るような、保育を必要としている子供がその地域にいる限りはその施設を維持して、小さい子供が1時間かけて保育園に通うような状況にはならないようにしていくという決意の表れとしてこの待機児童0というような意味で考えて良いのか。</p>
事務局	<p>少子化の中で、どこまで保育園の子供が減るかそれも限度があると思うが、現状の中島保育園などはまだまだ保育園として運営出来るだけの子供達がいるため、当面は少なくとも存続する。待機児童0を維持しながら、内容については充実を図っていきながら考えている。この場を借りて、前回の合計特殊出生率についても少し答弁は言葉足らずだったということで、説明させていただく。何故1.69の目標値かということだが、それについては、七尾版総合戦略と目標年度平成42年度で1.8を目指すというのを掲げているため、その途中経過として今回1.69ということで定めさせていただいている。合わせてご理解いただきたい。</p>
南(朋)会長	<p>ここまでの会議の中で、ある程度修正していただきたい箇所、あるいは一部文言の修正をお願いしたいというものがあるので、そこを事務局はもう一度見直し、ご返答をいただきたいと思う。</p>

事務局	<p>ご指摘のあった箇所の修正や文字の大きさの変更、レイアウトの変更、写真の変更等などを行い、最終案を作成していく。ただ、11月中旬に市長への答申を行うことから、時間がないため最終案については、南会長と佐藤副会長にご確認の上、皆さんに最終版として改めてお送りしたいと思っている。</p>
南(朋)会長	<p>では、それをお願いしたいと思う。そして、もう1つ皆さんにお伝えしておきたいのが、計画案全体像から見て特にここは問題だ、ここはどうしてもダメだというものももしあったら、ご指摘いただきたい。もし無いようであれば、事務局から先ほど説明のあったように一部修正されたものを佐藤副会長や私が確認し、最後の完成版に仕上げるといふ形に出来れば良いと思っているので、会長、副会長に一任をお願いしたい。</p>
各委員	<p>異議無し。会長、副会長に一任する。</p>
南(朋)会長	<p>それでは、総合計画案についての審議はこれで終わりたいと思う。続いて、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>(今後のスケジュールについて説明)</p>
南(朋)会長	<p>最終的には出来上がるのは3月と認識していれば良いということ。その前に広報で周知するとのことで良いか。</p>
南(紀)委員	<p>スケジュールについての確認だが、12月議会には構想部分を議決するのか。それを総合計画とするという話かと思うが、市民基本条例との整合性はそれで問題無いと考えているということか。</p>
事務局	<p>南委員がおっしゃった件については、いずれもクリアした形で基本構想部分のみを議会に議決をいただくこととなっている。</p>
南(朋)会長	<p>他に意見がないようであれば、これで本日の議事について終了する。最後に佐藤副会長から一言お願いしたい。</p>
佐藤副会長	<p>今日はお忙しい中お集まりいただきまして誠に感謝する。委員の皆様にはこれまでそれぞれの立場から審議会や各部会でたくさんのご意見を頂戴し、おかげさまで総合計画案もほぼ完成することが出来た。この総合計画を基にこれからの10年を七尾に暮らす人が安心安全に暮らせる持続可能な地域づくりにしっかりと取り組んでいただきたい</p>

	<p>い。総合計画に基づいて具体的なものにつきましては各年度の方針あるいは予算の中で反映されることなので、またその時点で皆さんしっかり見ていただければと思う。委員の皆様、お疲れ様でした。</p>
南(朋)会長	<p>会議としてはこれで終了するので、事務局の方に進行をお返しする。</p>
事務局	<p>最後に、総務部長の白田から一言、ご挨拶させていただく。</p>
白田総務部長	<p>南会長、ありがとうございます。本日委員の皆様にはお忙しい中、当審議会にご出席をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>本日いただきました修正点など含めまして、事務局の方でしっかりと修正整理させていただく。なお、昨年の7月から約1年3ヶ月に渡りまして第二次七尾市総合計画策定に向けまして、審議会や各部会でたくさんのご議論、ご意見いただいた。しっかりとした形での計画案が仕上がったという風に考えている。改めて感謝を申し上げる。先ほど事務局から説明のあったスケジュール通り、市長への答申や12月議会での議決をいただき、来年4月から新たな総合計画がスタートする。この総合計画を基にこれからの10年、七尾が能登を牽引する役割をしっかりと果たせるように取り組んでいきたいと考えている。当審議会は本日で最後となるが、委員の皆様におきましては今後ともそれぞれのお立場でご指導いただきたい。長い間、ありがとうございました。</p>
事務局	<p>これを持ちまして本日の審議会を終了する。</p>